

円滑かつ厳格な出入国管理について

～入国審査待ち時間20分以内を目指して～

平成30年5月
法務省入国管理局

第1 訪日外国人旅行者が急増する現状と今後の課題

現状と課題

訪日外国人旅行者数の急増

- 平成25年に初めて1,000万人を超え、平成27年には約1,970万人となり（2年でほぼ2倍）、平成29年についても約2,870万人（前年比19%増）と高ペースで推移
- 成田空港等では、外国人入国者数の急増により、審査待ち時間が長時間化することもある。
- ⇒ 厳格さを維持しつつ、審査待ち時間の縮減を図ることが必要

政府の方針

○明日の日本を支える観光ビジョン(H28.3.30決定)

- ・ 訪日外国人旅行者数を2020年に4000万人、2030年に6000万人に
- ・ 訪日クルーズ旅客を2020年に500万人へ

○観光ビジョン実現プログラム2017(H29.5.30観光立国推進閣僚会議決定)

- ・ 世界初の出入国審査パッケージの導入や世界最高水準の技術を活用し、革新的な出入国審査を実現するための取組を実施する。

○未来投資戦略2017(H29.6.9閣議決定)

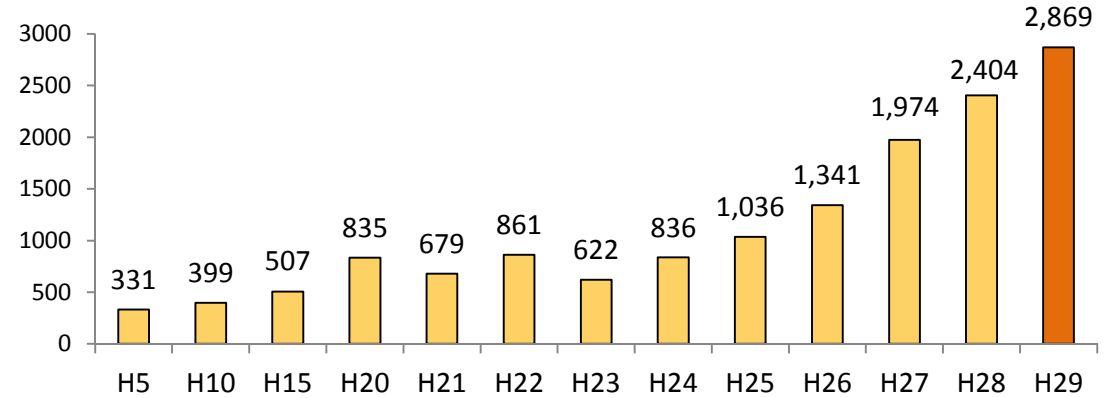
- ・ 最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現(空港での入国審査待ち時間20分以内を目指し、バイオカート対象空港の拡大の検討、プレクリアランスの早期実現、顔認証技術の導入、外国人出国手続等における自動化ゲートの利用拡大に向けた検討等を進める。)

○経済財政運営と改革の基本方針2017(H29.6.9閣議決定)

- ・ 革新的な出入国審査などのCIQの計画的な物的・人的体制整備

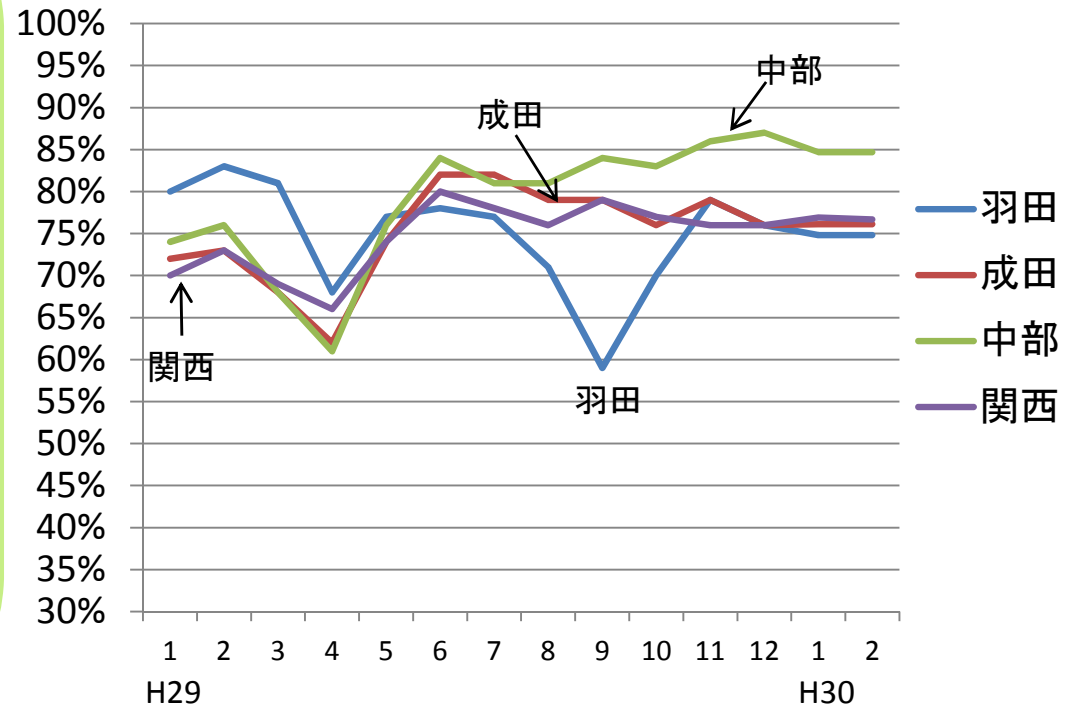
(万人)

訪日外国人旅行者数



※出典:H20~H29についてはJNTO(日本政府観光局)

主要4大空港における
入国審査待ち時間20分以内達成率の推移



第2 入国審査待ち時間20分以内を目指した取組と目指すべき将来像 ～ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備～

対策

これまでの取組

- 1 入国審査官の増員（平成28年度224人，平成29年度223人，平成30年度279人）
- 2 バイオカードの導入（平成28年10月に関西空港，高松空港及び那覇空港で導入，平成29年4月に成田空港等12空港で導入したほか，本年5月から北九州空港及び大分空港に拡大）
- 3 日本人出帰国手続への顔認証技術の導入（平成29年10月に羽田空港の上陸審査場において，日本人の帰国手続を行う「顔認証ゲート」を先行導入，平成30年度中に，羽田空港の出国審査場，並びに成田空港，中部空港，関西空港及び福岡空港の上陸・出国審査場への本格導入を予定）
- 4 TTP（トラステイド・トラベラー・プログラム）の導入（頻繁に来日する外国人のうち出入国管理上のリスクが低い者（トラステイド・トラベラー）を自動化ゲートの対象とするもの。平成28年11月導入）
- 5 上陸審査ブースの増設（平成28年度55ブース，平成29年度20ブース，平成30年度27ブース予定）
- 6 上陸審査場の案内の充実（上陸審査手続の案内等を行う審査ブースコンシェルジュの配置）

更なる円滑化対策強化の必要性

- ①訪日外国人旅行者数の急増
- ②2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

今後の取組

- 1 入国審査官の増員
- 2 バイオカードや顔認証ゲート等の導入空港拡大
- 3 外国人の出国確認における自動化ゲートの利用拡大（観光等で入国した外国人の出国手続にも顔認証ゲートを活用。平成31年度中の導入目標）
- 4 更なる審査手続迅速化の実現（慎重審査対象者を瞬時に特定するなどして，旅行者の審査に要する時間を更に短縮する方策の導入を検討）
- 5 上陸審査ブースの増設（空海港施設の拡張及びクルーズ船旅客の審査に対応するための審査端末機器の増配備）
- 6 上陸審査場の案内の充実（審査ブースコンシェルジュの活用を継続及び案内表示の充実）
- 7 プレクリアランスの実現（出発地空港で個人識別情報を事前取得し，入国時の手続を簡素化するもの。バイオカード等各種施策の効果等を踏まえ，必要性を検討）

目指すべき将来像

<大規模空港の入国審査場（イメージ図）>

世界初の入国審査パッケージの導入

一般の
外国人



自動化ゲート
登録外国人
(出国は登録不要)



日本人
(事前登録
不要)



待機中にバイオカードによる
個人識別情報の事前取得
(指紋、顔写真)

自動化ゲート

指紋認証



顔認証



審査ブース

世界最高水準のスムーズな審査の実現

※このほか，中・小規模空港においては，海外の空港で個人識別情報の提供を行い，到着時に優先レーンを通過するプレクリアランスを検討